

まちの話題

新

たな出発
旧幡豆郡3町の歴史に幕



3月20日に吉良町と幡豆町で、26日には一色町で、それぞれ閉町式が行われました。

式典では、各町の町長が閉町を宣言し、ボーイスカウトや代表児童・生徒と町長・議長の手により町旗の降納が行われました。

これにより、一色町は明治39年に5町村が合併して以来105年、吉良町は昭和30年に2町村が合併して以来56年、幡豆町は昭和3年に町村制を施行して以来82年の歴史に幕を下ろしました。

式典のアトラクションとして、一色町では一色高等学校和太鼓部いっしき・同OB会による和太鼓の演奏、吉良町では吉良中学校吹奏楽部とOBの皆さんによる「人生劇場」の演奏、幡豆町では幡豆民舞会による「新・西尾市音頭」などが披露され、出席者はそれぞれの町の歴史を振り返るとともに新たな出発に希望を抱いていました。

ス

スタートを切った新「西尾市」
市役所で新市出発式を挙



4月1日、新「西尾市」が誕生し、市役所では「新市出発式」が行われました。出発式には課長級以上の職員約100人が出席。登壇した榊原康正市長は職員へ、「新『西尾市』は本日からスタートするが、新市を取り巻く社会情勢は厳しく、効率的・効果的な行財政運営を行う知識と広い視野、諸問題に立ち向かう意欲と能力を持った職員が必要となる。新市は1市3町の地域資源を融合し、活力と魅力あふれるまちづくりを目指す。全職員がそれぞれの分野で全力投球して欲しい」とあいさつし、新市の第一歩を踏み出しました。



できごと

3/16 ▶▶ 4/15

3/23 中央児童館が開館

施設の老朽化などにより改築が行われていた中央児童館の開館式が行われました。テープカットの後で開放された館内では、早速遊戯室や図書室で楽しそうに遊ぶ親子の姿が見られました。



3/23 支援物資を受け付け ～28 東日本大震災被災地へ



東日本大震災に対する支援物資の受け付けが、市役所東側倉庫で行われました。即席めんや紙おむつなどが持ち

寄られ、ボランティアによって仕分けられた物資は県を通じて被災地へ送られました。

3/28 白浜保育園竣工式



吉良町の公立保育園「白浜保育園」の竣工式が行われました。新園舎は耐震性を考えた鉄骨平屋建てで、太陽光発電システムと全室に空調が完備されています。子どもたちも安心して、元気に育っていくことでしょう。

4/11 ホタルの幼虫を放流

室場小学校の児童が、平原ゲンジボタルの里でホタル放流式を行いました。



カップに入れたホタルの幼虫約2,000匹を全校児童が放流。「成虫になってきれいに光る姿を早く見たい」と目を輝かせていました。

半 世紀ぶりに再編成 西尾市消防団入団式

4月3日、市消防団入団式が一色町公民館で挙行されました。

式典では、一色・吉良・幡豆の各消防団の団長に市長から辞令が手渡され、代表して市消防団連合会長を務める一色消防団の田中三千雄団長が「これから私たちは、西尾市の安心・安全のために活動させていただきます。消防団の活動にご支援とご協力をお願いします」とあいさつを述べました。



終わりに、火の用心三唱を参加者一同で唱和し、市の無



火災・無災害を祈念しました。

これにより、昭和37年に消防団が警防団・水防団に編成替えされて以来、半世紀ぶりに市に消防団が再編成されました。

咲 き始めた桜の下 2011桜まつりを開催

4月2日と3日の2日間にわたり、本町など西尾市の中心市街地で桜まつりが開催されました。みどり川の桜の下で開催された金魚つかみやうなぎつかみでは、まだ冷たい水の中、子どもたちが元気にはしゃいでいました。遊歩道となった本町通りでは、手づくりの雑貨や屋台が出店する「城下町マーケット」や、スリッパを飛ばして距離を競う「スリッパズIV」などを開催。



多くのかたが参加した「本町BINGO」では、番号が読み上げられるたびに会場中に歓声やため息が響いていました。

まだ少し肌寒さの残る2日間でしたが、春の訪れを感じつつ、皆、思い思いに楽しんでいました。